

・区分	G010	ソフト部門
タイトル	ITを駆使した安全工程打合せ	
動機・改善前の状況	通常、各現場で行う安全工程打合せは、図面を前にして、各作業内容の確認、業者間調整や安全に対する注意事項の打合せを行っている。しかし、詳細な機械配置や出来形に応じた図面での実際に即した打合せができてないのが現状である。	
改善・実施事項	<p>ITを駆使して、作業員一人一人に理解度の高い、短時間で行える打合せ方法を実施している。</p> <p>(1)無線LAN対応のWebカメラを現場に配置し、実際のリアルタイムの映像を見ながら作業打合せができるようになった。</p> <p>(2)会議室には液晶プロジェクターを常設し、全員が前面の画像を見ながら理解度の高い打合せができるようにした。</p> <p>(3)パソコンはインターネットに接続され、台風情報や週間天気予報、今日明日のピンポイント予報、熱中症指数、積雪予報など、気象情報も最新情報を反映させ、工程打合せも予定を立てやすくした。</p> <p>(4)事務所内のパソコンはLANですべて繋がっており、図面CADデータもすぐに取り出せ、最新の施工図等を見ながら、イメージを掴みやすい打合せが可能のため、その場でポンプ車やレッカーを移動し、実際の明日の作業をシュミレーションでき、必要に応じて印刷して作業員に渡すこともできる。</p> <p>(5)作業予定日報もデータで直接入力するため、ルーチンワークはダウンロードリストを設け、明日の継続した作業を何回も同じことを入力する手間が省け、省力化にもなり、打合せ時間の短縮に繋がるよう工夫した。</p> <p>(6)他現場での災害速報や通知・通達等はスキャナーで読み取り、打合せ時に画像を見せて即座に伝達できるようにした。</p> <p>(7)新規入場者教育の際にも、パソコン等を利用してわかりやすい教育を施せるようにした。</p>	
改善効果	<p>(1)作業員一人一人の理解度が高まり、今では職長がマウスを持ってCAD図面上で説明するところまで参加意識やITのスキルが高まった。</p> <p>(2)天気の週間予報などに関心を持ち、長期的な作業予定を考えるようになってきた。</p> <p>(3)最新の図面に即した打合せができるため、現場での矛盾が早い段階で解消できるようになった。</p> <p>(4)およそパソコン上でできる作業はすべて打合せ時に可能であるため、今後の工夫により、一層の進化が期待できる。</p>	



会議室に天井プロジェクターを設置



打ち合わせ時に図面をプロジェクターで投影



リアルタイム Web カメラ設置状況



リアルタイムの映像を見ながら指示、打合せを行う

活動内容
改善事項の図、
写真

